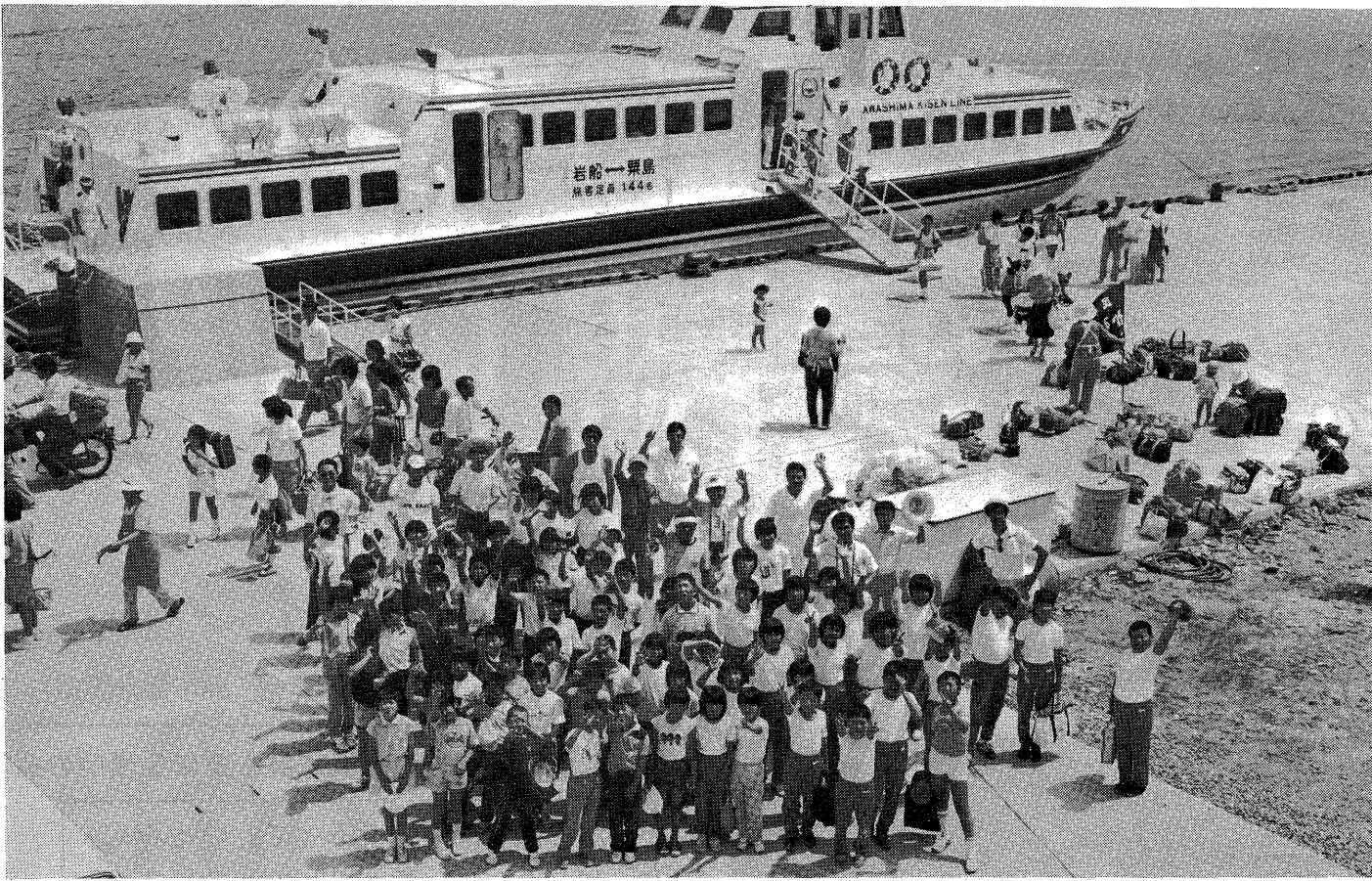


昭和五十九年元旦号

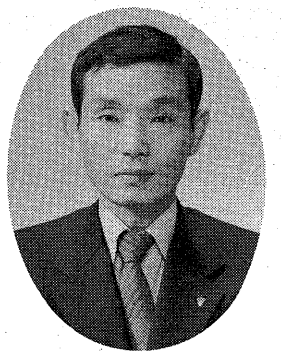
# あらしのみ

発行所 村上青年会議所  
編集者 総務広報委員会



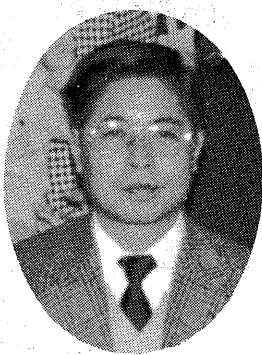
栗島浦村小学校 海の子・山の子交歓会 門前谷小学校

## あけましておめでとうございます



理事長 稲垣寛治

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。村上青年会議所が発足して十七年目、常に市民と共に歩み続け、今では青年会議所運動は着実に地域に根をおろし、市民の深いご理解、ご支援と又先輩諸兄の並々なぬぐい尽力により、今日まで成長して参りました。又、昨年は、若い会員が八名入会致しました。常に新しいエネルギーと未来への展望を打ち立てる青年会議所は、現常に満足せず、将来へ大きな夢を描いて、不可能に挑戦を



直前理事長 益田雄介

新年明けましてお目出とうございます。本年は村上市が市制を施行して30周年の記念すべき年であり、この意義ある年を迎えるにあたり、郷土発展の為昨年我々は「まちづくり」の提言書を発表させていたゞきました。

又、昨年10月には活力あるふる里作りに造詣の深い萩原茂裕氏を講師に「村上のまちづくりへの提言」と題し講演を排聴する機会があり、市制施行30周年の当市にとりまして正にタイムリーな講演でありました。

氏の講演内容は数多くの体験に基づく実践的まちづくり論として村上のまちづくりを具体的に示唆されました。その中で要約致しますと次の2点が強く印象づけられました。青年会議所活動の基本方針と大きく類似しておりますので御紹介させていただきます。

し、無から有を生み出す日々の闘いこそが、我々の本当の姿としております。村上市が発足して三〇年、今年はその意味において、さまざまな記念事業が催されると思われます。村上青年会議所は、その一翼を、担うべく活力ある街づくりを目指して、今後の村上市の未来像を市民の皆様と考えたいと存じます。

「変化こそ前進」であります。私達を取り巻く社会の変化は、否も応もなく身近に迫っています。この変化に対する対応を一步間違えるならば、将来、次代の子供達の時代にまで、禍根を残すこととなります。我々は、自から進んで「変化」に飛び込んで行くつもりです。大きな壁にぶつかった時、重荷を背負った時、はじめて人間は本来の力を発揮できるものと思えます。困難こそ、前進への活力を与え、新しい時代を切り開く気概を与えてくれます。このような認識をもって、村上青年会議所は、これから一歩一歩地道な研鑽を積み、明るい未来へよりよい豊かな街づくりを推進することが、今日までに私どもに寄せられた地域の皆様方のご理解とご協力の責任と考えます。今後より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

1. すばらしいまち（発展するまち、活力あるまち）にはすばらしいテーマがある。

2. まち作りは人作りである。

この2点を郷土村上にオーバラップさせて考えますと、すばらしいテーマとは村上市の特性が端的に紹介できる名刺（キャッチフレーズ、市民憲章等）が必要であり、且つ又、行政側が中期、長期のビジョン（村上市の将来の方向）を明確にし、市民に周知徹底されていなければならないと考えます。このテーマとビジョンを実現して行く為には、この地に強い愛着と情熱を持った多数の市民の参加が不可欠であります。

又、子供達が村上の歴史文化をより深く学ぶ事によって郷土に対する愛着と誇りが芽ばえ、この地を大切に育てる子供達が育成され、村上の将来担う人材が育っていくものと信じます。生れ育った地の歴史教育の必要性を痛切に感ずると共に「まち作りは人作りである」事を強く印象づけられました。同時に青年会議所活動の基本方針である「社会と人間の開発」即ち「まち作りと人作り」と全く同じであります。

市制30周年の記念すべき年を迎え市民の方々が豊かな郷土作りに最大の関心を寄せられる事を祈念申し上げますと共に昨年青年会議所の各種事業推進に對してお寄せ載りました御理解と御協力に改めて深く感謝申し上げます。

# 市政懇談会

三回目という事で議員の方々も手なれ  
てきたというより、なごやかな雰囲気  
で懇談出来た。JC側の質問はとりわけ観  
光問題にしばられた様で、やはり第三セ  
クターとサーモンパークの問題にはかな  
り有意義な意見や提示もなされ、これか  
ら第三セクターの方式には市側への強い  
アピールがなされた。

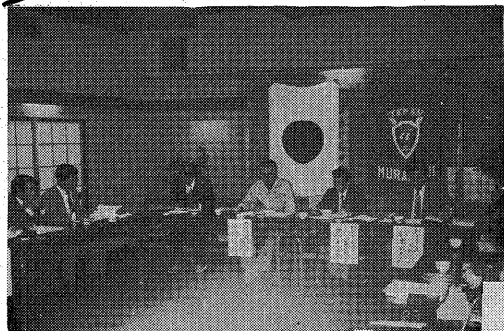
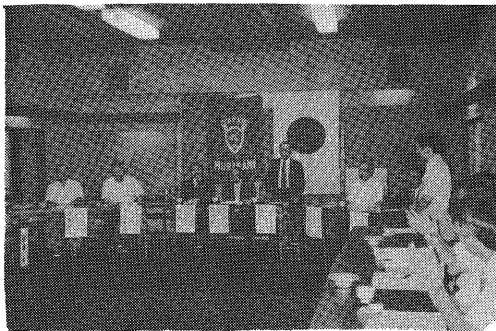
四回目には一日市議会という形をとっ  
て議員とJCという場も考えられるの  
ではないか。サーモンパークには特にJC  
も審議員として名を連ねているから、  
市側にJCの意見と要望を聞いてもらっ  
たい。今回はメンバーに現職の議員が入っ  
ているのでパイプは通り安く、四回目的  
懇談会もたのしみである。

## 行政に市民

課長に!

市議員に!

の声を!



## 「ホットライン」

恒例家族会(58年2月開催)

常日頃毎日の仕事に追われている青年会議所の会員

たまには「家族そろって」いっぴく、  
ゲームあり、歌あり、寸劇あり、  
青年会議所っておもしろいよ。

市内の20才~40才までの青年はぜひ入会を!



村上青年会議所家族会

1983.2.20

## 三面川の鮭 生かせるかサーモンパーク!

三面川を抜けては、日本の鮭をかたる  
ことはできない。遠く歴史をさかのぼれ  
ば村上藩主青砥武平治に代表される。鮭  
の回気性の発見、そして日本あるいは  
世界初の人口フ化事業の成功、明治十七  
年、七三万匹の回気など知られている。  
即、日本の鮭のルーツである。その意味  
でも鮭公園は村上に造らなければならな  
いのです。

第三回、シンポジウムで提案され、  
鮭公園審議会で審議しているその一部を  
報告します。

基本構想は、鮭の増殖、学校教育、社  
会教育、観光資源などすべてにわたって  
関係しなければならぬことです。その

ため鮭文化伝承館、公園、駐車場、トイ  
レ、などを市側で、鮭会館(おみやげ  
食堂)、種川を掘り下げカプセルをうめ  
こみ種川を水族館みたいにするものを第  
三セクターが民間でとの構想が話合われ  
ている状態です。問題は予算と市民の合  
意ですが、先人のこした鮭増殖の歴史  
を見て偉大な祖先の精神を勉強する場所  
を訪れる人に誉れる施設ができるこ  
とを望んでおります。

種川のカプセル化と鮭釣りの構想は君  
知事ですし、稲葉修元法務大臣は水産庁  
長官とこの問題について話し合っている  
との事、大変ありがたく思っています。

### ▼いまだ若者の若者...

老人の繰り言といえは、昔から「い  
まどきの若い者は...」と相場が決ま  
っている。なぜかわからないが、齢  
を重ね、人生経験豊かな人たちの目か  
ら見ると、若者はどうにも危なっかし  
く、頼りないものになるらしい。

ところが、かつてある経済記者が、  
経団連会長時代の土光敏夫氏に、戦後  
生まれの若者を見て、この先、心  
配で仕方ないのではないかと問いかけ  
ると、「ちっとも心配しとらんね。僕も  
若い時は、じいさんやばあさんから、  
「意気地がない」と、ずいぶんいわれた  
よ。それがどうだい、そのじいさんや  
ばあさんの時代といまと比べて、比較  
にならないほど現代の方がよくなって  
いるじゃないか。若い人たちに期待し  
ているよ——」  
と答えたという。

若者の行状を見て、国の行く末を案  
じて暗澹たる気分であるよりは、若者  
を信頼し、前途を期待したほうが、精  
神的にはよほど豊かな晩年といえるの  
ではないだろうか。

### ▼平凡な真理

三井グループの大御所で、三井銀行  
相談役の小山五郎氏が、例の三越・岡  
田追放劇の直後に、ある結婚式でこ  
スピーチした。

私もいろいろな紆余曲折を経て、  
人生をここまで生きてきました。そし  
て、これから船出するお二人に、人生  
で何が大事かを、私の経験からお伝え  
したいと思えます。私なりに考え、三  
つの言葉にしてみました。それは「信  
念」と「勇気」と「希望」です。  
一見、何の変哲もない三つの言葉だ  
が、ケンカ五郎の精神的バックボ  
ンであることを思うと、実に重みがで  
てくるから不思議である。

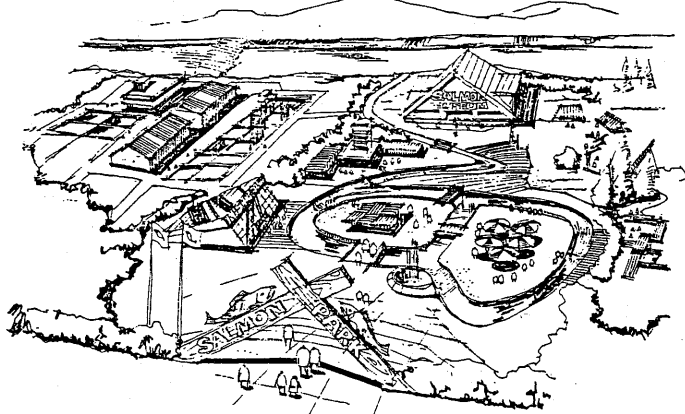
さらに、経営者にとつての必須条件  
は何か、とある雑誌のインタビューで  
訊ねられたとき、一に「健康」、二に「明  
るさ」と答えている。これもまた単純  
明快な回答である。

小山五郎氏の足跡を振り返ると、こ  
く平凡な真理を忠実に守ってきたにす  
ぎないといった観がある。だが、案外こ  
のことが最も難しいのかも知れない。

## きわめて日本的

50億から

ただし、若者のほうは、秩序や体制







村上青年会議所主催 第3回

# 海の子・山の子交歓会

村上市門前谷小学校と栗島浦村小学校

未来の子供達に明るい豊かな社会を!



青少年教育開発委員会の事業の1つとして昭和56年度より、「少年の集い」を毎年行っている。これは、市内の地域の違う小学校の児童達が野外活動を通して友情を深め、かつ村上の美しい自然にふれ郷土愛を育てて行こうとするものである。

昨年は海の子山の子の交流を目的として、門前谷小学校の児童と栗島浦村小学校の児童の交歓会を1泊2日の日程で、美しい海と空に囲まれた栗島で行った。

計画を実行するにあたって、子どもは何に興味を示すか、どうしたら互いに打ち解けあうか、病気や怪我をした場合どう対処するか、雨天の場合はどうするか等、我々メンバーも頭を悩ませながら準備を進めてきた。

当日は念願がかなって晴れ、大きなリックを背負い、息を弾ませながら船に乗り込んだ子ども達。船の中では酔いをこらえながら、「もうすぐ栗島へ着くからね」と友達に励まされている子、初めて行く栗島に不安と期待でドキドキしている

子など、思い思いの気持ちを乗せながら高速船「いわゆり号」は一路栗島へ向った。こうして第3回少年の集い「海の子山の子交歓会」は始まった。島の子どもの対面では普段はひょうきん族の子達とも、ちよっぴり緊張感を漂わせていたが、それも時間が解決して1人2人と一つの間に自分の家のこと、学校のことを話しあう輪が広がっていった。夕食のメニューはカレーライス。自分達で作った味は又格別で家ではあまり食べない子ども達も、後で薬の厄介になるのではと心配する程食べまくっていた。

夜にはすっかり打ち解け、体育館の灯が消えてもヒソヒソ話が聞こえていた。2日目5時、「起床、起床」の声に「眠い、眠い」とやっと目をさまし、早朝散歩に出かける。燈台のある山の上へ登り、栗島を一望する。

子ども達の目には日本海の美しさ、栗島の美しさが焼きついたのではないかと思う。

全てのスケジュールも終わり、栗島港か

ら離別の時には、「また来いよ」と栗島の子ども、「また来るよ」と門前谷の子ども、友達になったばかりの子ども達は手を振り、目に涙をため一緒に行った我々も感動を受ける場面もあった。

後日、子ども達からの「またやっつて」「おもしろかった」。「勉強になった」とのお礼の手紙をもらった時は、今年も継続しなくてはと思い、この事業に御理解して協力してくれた方々、又、日本赤十字救護員の方々に對して厚く御礼申し上げます。

村上のような自然に囲まれた所に住んでいる我々は、この自然を愛し、保護し、未来の子ども達に明るい豊かな社会を残して行きたいものです。

が望まれる。

58年は皆様に御協力をいただきました今年も青年会議所をよろしく。一

# 村上市教育委員会主催 少年少女ソフトボール 大会に参加して

去る8月21日(日)三河川河川敷グラウンドに於て、第7回少年ソフトボール大会が第5回親と少女ソフトボール大会が開催されました。市当局からの要請が青年会議所にもあり、多忙なる会員諸兄のうち、10名審判員として参加致しました。幸い当日は、天候にも恵まれ、真夏を思わせる様な炎天下で、参加チーム、少年チーム27チーム、親、少女チーム25チーム、約800名が元氣一杯プレーに臨みました。応援の保護者及び大会関係者を加えますと相当の人数になるかと思えます。

我々が受け持ったのは、親と少女のチーム1チームを2ブロックに分け(7チームずつ)トーナメント方式の6試合、午前九時~午後二時頃まで、参加した青年会議所諸兄の方々は、本当にご苦労様でした。また来年はもっと多くの会員の方々に参加して頂き、公平な分担で、青少年の健全な育成の一助になれば幸いです。又私共の会議所だけではなく、市内の小学校の先生、野球連盟、市体育館の方々を始めとし、数多くの皆様の努力奉仕によってこの大会は成り立っている様です。これからもどうぞ会員諸兄におかれましては、臆する事なくどんどん参加して下さい。



## 新入会員募集

青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった二十歳から四十歳までの団体です。村上市青年会議所ではみなさんの参加をお待ちしています。

お問い合わせは  
村上市青年会議所事務局へどうぞ。  
電話 三二四二五七

# J・C 1984年 新役員及会員構成

今年度より施行された新定款、諸規定により九月総会にて監事二名、理事十五人が選任され、先に川上伊登志、荒木秀君を副理事長としてお願いし、十月八日次年度四役会議を開催し、次年度の委員長、副委員長を決定しました。

次年度は山貝博君が新潟ブロック協議会広報委員会委員長として出向され、また今年度入会者から四名が理事として当選されたという、過去にない若さに満ちた役員構成となりました。

村上市J・Cも例外になく他L・O・Mと同様世代の交代が表れたものと思えます。これらの点から各委員会の委員構成についても四役会議で検討し決定しました。新たに設けた事務局については総務広報委員会と従来の事務局との業務分担等明確に出来ない点がありますが、実施段階で検討して行くつもりです。

二十周年を目前に控え、ここの二、三年が大きな転換期と思えますが、これらの点からも将来に備え前向きに取り組んだつもりですが、無理難題を申したり、細かい充分なる配慮の欠如した点をお詫びをしてお許しをお願いするものであります。総会に次ぐ決議機関は理事会であり理事です。メンバー一人ひとりの暖かい御理解と御協力をお願いいたします。

## 提言書完成

### 市民アンケート一、〇〇〇人

この二年間、社会開発委員会の事業でありましたが、村上市のために提言一、〇〇〇人アンケートの集計が終了、一冊の本に致します。

その結果を「明日、村上市のために提言いたします」という御希望の方に一冊一、〇〇〇円で商工会議所事務局で領布しております。

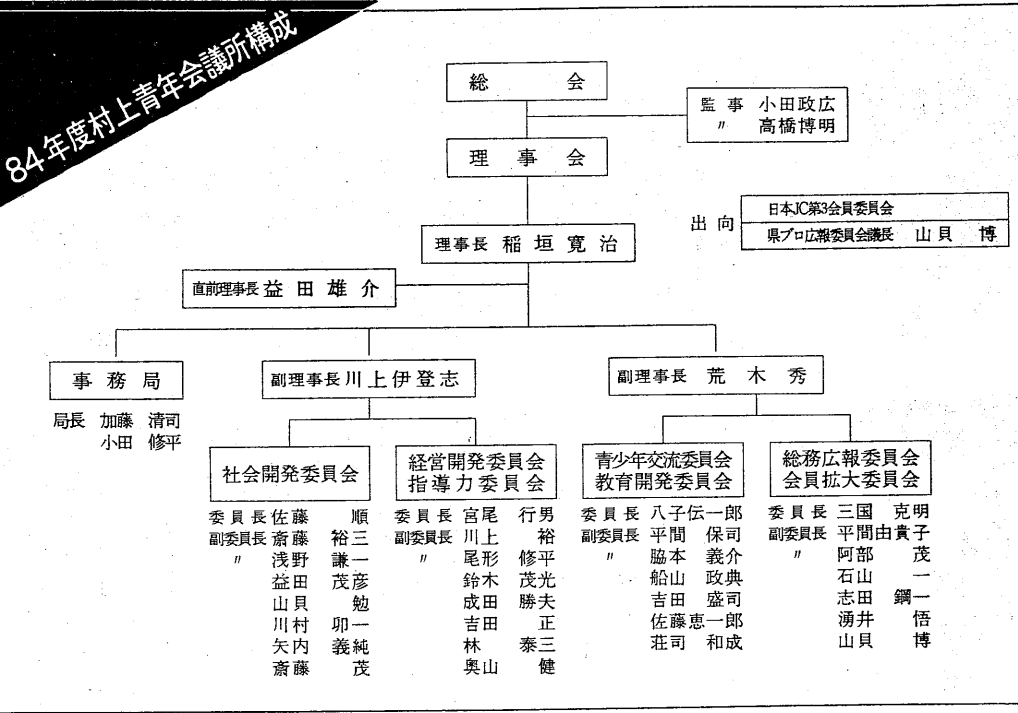


## 編集後記

よく「青年会議所」と「商工会議所」と一語にし、商工会議所の青年部と誤っている方が多いようです。これは間違いです。

昭和五十九年、村上市にとって市制施行30周年の記念すべき年です。私達、青年会議所の会員も豊かな村上市を創りだすため、市民運動の先頭にたつて新しい30年後を想像してゆきます。

今年も皆様方の御理解・御協力をお願い致します。



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

- |   |   |
|---|---|
| (株) 加藤組<br>岩船タクシー(株)<br>電政社<br>柘尾建設<br>サウンドワクイ<br>(株) 川上製作所<br>川上善四郎商店<br>(株) 宮作<br>川村一司法書事務所<br>村上信用金庫<br>旭電工(株)<br>(株) 汐美荘<br>佐藤写真館<br>シエルホテル<br>(株) ダスキン鈴木<br>岩船どさん娘<br>吉田物産<br>(有) ユタ力不動産<br>成田地所<br>平間酒地所<br>扇屋旅館<br>愛染酒堂<br>益甚酒店<br>(有) 益田甚兵衛酒店<br>ミクニ村上美容室<br>宮尾酒造(株)<br>三嶋屋旅館(株)<br>(有) 能登新<br>(株) 新多久<br>(株) 矢内スキー製作所<br>(株) ホテルすゞぎヶ池<br>吉田屋旅館<br>稲垣豊秋<br>(有) いし山葬儀社<br>(有) 志田善七商店<br>フォト・スタンプ新潟 | 阿部写真館<br>日本旅行村上営業所<br>OBI<br>木村薬局<br>(株) 長弘硝子<br>(株) 力工ツ<br>(株) 本間牛乳店<br>(株) 松沢商会<br>(株) 水倉組村上支店<br>村恭製菓舗<br>山貝洋服店<br>(株) 見はらし旅館<br>角長呉服店<br>(有) から松旅館<br>村上労働管理センター<br>きくや履物店<br>加藤木工所<br>風間建具製作所<br>倉松鉄工所<br>関根モーターズ<br>(資) 土田商店<br>(有) 富中産業<br>(有) 丸木屋商店<br>(資) 永徳商店<br>山嘉土建<br>(株) 早川書店<br>(有) 益田書店<br>益藤酒店<br>一光建設(株)<br>(資) 風月堂<br>(資) 佐藤自動車修理工場<br>大滝自動車工業(株)<br>共栄不動産<br>(資) 角銀<br>(株) 永徳酒販<br>永井松栄堂<br>(順不同) |
|---|---|